

6 芸術（音楽）

学校番号

208

令和3年度 芸術科〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	Tutti 音楽 I 改訂版 （教育出版）						
副教材等	MUSIC NOTE （啓隆社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通して学習します。
- ・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
- ・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみても価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
- ・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	豊かな声で歌い上げよう	【歌唱】 【楽典】 「校歌」 「上を向いて歩こう」 「野ばら」	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	曲に合った奏法で演奏しよう	【器楽】 リコーダーの基本的な奏法 音階練習 「アニメ・メドレー」	○	○	○		a: リコーダーの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、いろいろな奏法を身に付けて演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:自分なりのイメージを持ち、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素の変化と、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: アルトリコーダーの音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	西洋音楽を鑑賞しよう	【鑑賞】 歌劇「カルメン」	○			○	a:様々な形態の音楽に積極的に触れ、声や楽器の特性と表現上の効果、楽曲の歴史的背景などに関心を持ち、意欲的に聴いている。 d:様々な音楽の特徴を感じ取り、そのよさや美しさを感じ取っている。	観察 ワークシート
2 学 期	外国語の歌に挑戦しよう	【歌唱】 「シング」 「O sole mio」	○	○	○		a:歌詞の内容や背景に関心を持ち、意欲的に歌っている。 b:カンツォーネとリートの発生の特徴を生かし、表現を工夫して歌っている。 c:きちんとした発声でイメージを表現できる。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3 学 期	ギターに挑戦	【器楽】 基本的な奏法とアンサンブル 「愛の挨拶」 「木星」	○	○	○		a: :ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、旋律を演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。 c: 演奏するために必要なギターの基礎的な技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	演奏を聴こう	【鑑賞】 ギターアンサンブル	○			○	a: ギターで扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	音楽の要素と組み立て	【創作】 言葉と音楽 楽典	○	○	○		a: 音楽を形作っている要素（速度・音色・音階等）を知覚し主体的に取り組もうとしている。 b: 音階の特徴を知覚し、その醸し出す雰囲気を感受しながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c: イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	郷土の音楽を味わおう	【鑑賞】 「ていんさぐぬ花」 「安里屋ユンタ」 「島人ぬ宝」	○			○	a: 沖縄の伝統音楽や民謡に関心を持ち、意欲的に聴いている。 d: 沖縄の伝統音楽特有の声や楽器の音色を味わおうとしている。	観察 ワークシート

※ 表中の観点について a: 音楽への関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の3観点で、「鑑賞」の分野は a, d の2観点で評価をする。

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。